

令和 6 年度の川崎市の大气や河川の水質等の状況をまとめました

川崎市では、大気汚染防止法等の法律に基づき、大気環境及び水環境に関する調査を実施しています。このたび、令和 6 年度の状況がまとまりましたので、その概要について次のとおりお知らせします。

大気環境の状況

- ・ 二酸化窒素 (NO₂) は、10 年連続して**全局**^{※1} (18 局) で**環境基準を達成**しました。
また、**環境基準の下限值**^{※2} (0.04 ppm) については、令和 6 年度に**遠藤町自動車排出ガス測定局**^{※3} で初めて達成し、**全 18 局中 16 局での達成**となりました。
- ・ 微小粒子状物質 (PM2.5) は、9 年連続して**全局**^{※1} (17 局) で**環境基準を達成**しました。
- ・ 光化学オキシダント (Ox) は、**全局**^{※1} (9 局) で**環境基準を達成**しませんでした。
光化学スモッグ注意報の発令は 9 回で、健康被害の届出はありませんでした。
全国においても環境基準達成率が極めて低い状況が続いています。

水環境の状況

- ・ 河川の代表的な汚濁指標である**生物化学的酸素要求量 (BOD)**^{※4} は、**全地点** (12 地点) で**環境基準値に適合**しました。
- ・ 海域の代表的な汚濁指標である**化学的酸素要求量 (COD)**^{※4} は、**6 地点中 3 地点で環境基準値に適合**しました。東京湾は閉鎖性水域であり、運河部に比べ環境基準が厳しい沖合部は環境基準値の適合が難しい状況が続いています。

注) 環境基準とは、環境基本法により、「大気の汚染、水質の汚濁等に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」とされています。

※1 大気環境は市内に設置している測定局で調査しており、項目によって測定局数が異なります。

※2 下限値：二酸化窒素 (NO₂) の環境基準は「1 時間値の 1 日平均値が 0.04 ppm から 0.06 ppm までのゾーン内又はそれ以下であること」とされており、ここでのいう下限値とはゾーン下限の 0.04 ppm を指します。

※3 所在地は、幸区遠藤町 1

※4 BOD、COD：水中の有機物の量に係る指標です。

詳細については、川崎市ホームページ「令和 6 年度の大気環境及び水環境の状況等について」を御確認ください。

(URL) <https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000178542.html>



大気環境及び水環境の
状況等について

(参考) 地下水中の有機フッ素化合物 (通称：PFAS) については、調査結果が判明次第、随時公表しています。詳細は川崎市ホームページ「地下水中の有機フッ素化合物 (通称：PFAS) の調査結果について」を御確認ください。

<https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000156289.html>



PFAS の調査
結果について

～ 大気・水などの環境配慮意識の醸成に向けた情報発信の取組 ～

本市では、大気や水などの更なる環境改善に向けて、市民や事業者の環境配慮意識の醸成を目的に、地域特性等を踏まえた取組をデジタルツールを用いて情報発信しています。

○かわさき水辺の生きものPR動画を配信

川崎の水環境の魅力を伝える「かわさき水辺の生きもの」に関する全3部作の動画を配信しています。令和5年度に第1弾「中部の身近な川での川遊び編」として多摩川や二ヶ領用水を舞台に川にすむ生きものについて調べる動画を、令和6年度に第2弾「北部の湧水地編」として保全活動で守られている湧水地ならではの生きものを紹介する動画を、第3弾「南部の多摩川河口の干潟編」として多摩川河口に広がる干潟でよくみられる生きものを紹介する動画を作成しました。いずれも、ネイチャーポジティブの観点から、貴重な生態系と水環境を守っていくために私たちには何ができるのかを考える内容としています。



動画視聴はこちら↓



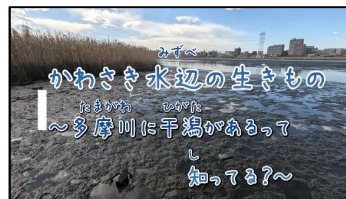
中部の身近な川での川遊び編



動画視聴はこちら↓



北部の湧水地編



動画視聴はこちら↓



南部の多摩川河口の干潟編

○川崎市デジタルアーカイブ「かわさき環境100年史」ウェブサイトの公開

川崎市の発展や、市民・事業者・行政が協働して改善してきた本市の環境を取り巻く歴史を振り返り、環境シビックプライドの醸成を図るとともに、脱炭素社会の実現など未来に向けた行動を考えるきっかけとすることを目的に、環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化したウェブサイトを開業令和6年11月に公開しました。(既報)

令和7年度は、新たなコンテンツとして、令和6年度に富士見公園パークセンター（全国都市緑化かわさきフェア会場内）などで計4回実施した市制100周年記念事業「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」における環境改善の歴史パネルや動画、クイズなどの体験型展示を、いつでもどこでもウェブ上で体験できるようにデジタル化するとともに、現在公開しているコンテンツについても追加・拡充する予定としています。



デジタルアーカイブ トップページ

デジタル
アーカイブ
ウェブサイト
はこちら↓



令和6年度企画展

企画展に
関する
市ホームページ
はこちら↓



(問合せ先)

- ・大気環境及び水環境について

川崎市環境局環境対策部環境保全課

加藤

電話 044-200-2519

- ・大気・水などの環境配慮意識の醸成に向けた情報発信の取組について

川崎市環境局環境対策部地域環境共創課

西村

電話 044-200-2527